



## 『映画で学ぶ《教育学》』掲載作品一覧（創刊号～最終号）

雑誌名	映画で学ぶ《教育学》
号	4
ページ	30-30
発行年	2014-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00124152">http://hdl.handle.net/2241/00124152</a>

【『映画で学ぶ《教育学》』掲載作品一覧】（創刊号～最終号）

創 刊 号		子どもの権利思想の源流	荒川麻里
ルドルフ・シュタイナーの青年観から読む	相賀由美子	『ヤヌシュ・コルチャック～すべてをこどものために～』(2001 年)	
第 3 号			
『白バラの祈り』(2005 年)		少年期における「自分らしさ」の芽生え	牧瀬翔麻
教師の役割～可能性と限界を問う～	大森泉季	『おおかみこどもの雨と雪』(2012 年)	
『パリ 20 区、僕たちのクラス』(2008 年)		「人間」であることを休憩する	後藤みな
文化を理解すること—教師の働き—	小野淳美	『かえるくんとマックス』(2009 年)	
『フラガール』(2006 年)		保護者による教育を信頼しよう	松原悠
学校の勉強で得られるもの	山崎美穂	『I am Sam アイ・アム・サム』(2001 年)	
『いまを生きる』(1989 年)		学校と軍隊	白岩伸也
学習指導の一形態？	村松遼太	『決戦の大空へ』(1943 年)	
『ファンシイダンス』(1989 年)		意味を考えることの大切さ	木下祥一
心の教育	寝占真翔	『ベイ・フワード』(2000 年)	
『三十四丁目の奇蹟』(1947 年)		学ぶって何だろう？	何楊
家庭教育の力	韓雪	『誰も知らない』(2004 年)	
『マイ・ドッグ・スキップ』(1999 年)		自分の人生は自分で決める	敖愛琳
平等に教育を受ける権利を守る	宮玉婷	『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』(1997 年)	
『さよなら子供たち』(1987 年)		大切なものである友達	周也
絆が創り出す教育空間～社会教育の力～	曹蓓蓓	『サイモン・バーチ』(1998 年)	
『鶏排英雄』(2011 年)		好奇心から夢への教育とは	盧中潔
生涯学習と高齢者教育	陳菁浩	『ニュー・シネマ・パラダイス』(1989 年)	
『マルタのやさしい刺繍』(2006 年)		教育における「平等」を考える	田邊良祐
教育と教師についての再考	張揚	『最強のふたり』(2011 年)	
『あの子を探して』(1999 年)		対立する人々を団結へと導くスポーツの	坂口真康
教師と子どもの信頼関係づくり	田邊良祐	不思議な力	
『英国王のスピーチ』(2011 年)		『インビクタス／負けざる者たち』(2009 年)	
学校給食と食育	黄海玉	人を支える教育行財政へ	黄海玉
『未来の食卓』(2008 年)		『コントロール』(2004 年)	
子どもを教育するという行為の重さ	澤田裕之	知識を得ると生きることが楽しくなる	澤田裕之
『劔岳：点の記』(2009 年)		『幸せの教室』(2011 年)	
看護と教育の接点	福野裕美	子どもの主体性を重視する保育	福野裕美
『がん看護専門看護師 田村恵子の仕事』(2009 年)		『チャーリーと 14 人のキッズ』(2003 年)	
学校教育と家庭教育との差異	荒川麻里	天命を反転する教育：枠組みの再構築へ	荒川麻里
『ツッパリ生徒と泣き虫先生』(2001 年)		『死なない子供、荒川修作』(2010 年)	
第 2 号		最 終 号	
「日本」という国の多様性を映し出す鏡	國分麻里	一人ひとりの子どもに寄り添う教育を目指して	奇楽木格
『우리 학교(ウリハッキョ)』(2006 年)		『Taare Zameen Par』(2007 年)	
考える力を育てる教育	田中マリア	学ぶ存在としての「子ども像」	小山田建太
『小さな哲学者たち』(2010 年)		『学校Ⅱ』(1996 年)	
親の教育の自由と学校・教師の役割	大西圭介	教育(指し示し)にできることとできないこと	田中怜
『バイバイ、ママ』(2004 年)		『ピノキオ』(1940 年)	
子どもの興味を引き出し、思考力を育む	平林真伊	美との出会いにおける理性と感性の調和	村井輝久
『ピタゴラ装置 DVD ブック 2 』(2007 年)		『ベニスに死す』(1971 年)	
幸福になるための生涯学習	于森	創造的な算数教育を目指して	村田翔吾
『学校』(1993 年)		『穴』(2003 年)	
生き抜く力とは何か	呉旻	自分自身を受け入れること	嶋村安祐美
『学校Ⅲ』(1998 年)		『フィービー・イン・ワンダーランド』(2008 年)	
親子の信頼関係を築くには	洪湔	教育環境を求める子どもたち	高谷昌樹
『となりのトトロ』(1988 年)		『クレヨンしんちゃん モーレツ！オトナ帝国の逆襲』(2001 年)	
子どもの個性に応じた教育実践	孫春蕾	闘い抜くために歌われた歌	坂口真康
『コーラス』(2004 年)		—音楽を通じた人の繋がり	
平和への道を問う・共に生きる	鄭曉文	『AMANDLA アマンドラ！ 希望の歌』(2002 年)	
『パラダイス・ナウ』(2005 年)		校則と子どもの狭間に生きる教師	澤田裕之
人と人がつながるということ	坂口真康	『コッホ先生と僕らの革命』(2011 年)	
『アメリカン・ヒストリー X 』(1998 年)		専門職としての教師	福野裕美
教師の教育の自由と責任	黄海玉	『院内学級教師 副島賢和の仕事	
『ウェイヴ』(2008 年)		～涙も笑いも、力になる～』(2011 年)	
移民のこどもと学校教育	澤田裕之	親子関係への支援と介入	荒川麻里
『ウインキーの白い馬』(2005 年)		『レディバード・レディバード』(1995 年)	
食育の必要性	福野裕美		
『ジェイミー・オリヴァーのスクール・ディナーVol.1』(2005 年)			計 56 作品